

青少年問題協議会 会議録

日 時 令和 7 年 5 月 2 3 日（金）13:30～15:00
場 所 市役所 303 会議室
出席者 青少年問題協議会委員 28 名（欠席：5 名）
〃 幹事 10 名（欠席：1 名）
進 行 青少年センター所長

市民憲章唱和（センター平松）

1 開会のことば 市川課長

2 会長・副会長の任命承認

鈴木所長 会長は昨年度に引き続き高橋氏を推薦する。副会長は総代連合会長に復帰された細井氏、昨年に引き続き石川氏を推薦する。本日は都合が合わず松本氏が代理出席している。承認される方は拍手をお願いします。

—拍手多数—

鈴木所長 承認ありがとうございます。高橋茂会長から挨拶をお願いします。

3 会長あいさつ 高橋会長

お世話になった方ばかり。

この協議会は青少年に対する施策を周知する会。横の連絡を取り、行政、地域、警察、学校、一丸となっていくことが青少年健全育成に欠かせない。

現時点では落ち着いているが、学校に出られない子、高校を中退した子が SNS を通してつながり、非行問題があると聞いている。昨年の 8 月頃から少し見られ、心配。近隣の豊橋では「ブラックアウト」という非行集団があり、蒲郡の子とも SNS を通じて関係ができるのではと心配している。誹謗中傷、薬物乱用などいろいろな問題があるが、皆さん團結して対応していきたい。

本日は、子育て支援課よりこども計画の説明、学校教育課から小中学生の課題について話がある。それぞれの立場からそれぞれの意見を出していただくとありがたい。

4 教育長あいさつ 壁谷教育長

皆様には大変お世話になっており感謝します。現在取り組んでいることを紹介する。

今年、小学生 3,627 人、中学生 1,961 人 合計 5,588 人となっている。令和 3 年度より 6000 人を切ってきている。1 学年の人数も 600 人を切るようになっていく。はたちのつどいの対象者が 720 人というのを見ると減ってきていることがよくわかる。西浦小（175）西浦中（108）合わせて 283 人だが、私が中学生のときは学年に 140 人いた。西部小も 20 年前は全校で 100 人を超えていたが、今は 59 人。

全中学校区でコミュニティスクールとなった。地域学校協働活動も地域の皆さんのお世話になっている。ボランティアの参加者は 5,000 人を超えている。

不登校対策として校内支援センターを 3 つの中学校に設置。教員免許を持つ者 3 人と補助員で運営している。

施設面では、市内中学校の体育館にエアコンが設置された。今年度は小学校の体育館に設置予定。

タブレットは秋に iPad に切り替え予定。

多くの公共施設は私が中学生のころに作られ、古くなってきている。現在、西浦小敷地に義務教育学校を建設中。塩津小敷地に公民館機能、保育園機能を複合化する工事をしている。R9 は北部小と西部小を統合し新しい学校とする。これに合わせて市立特別支援学校を設置する。

学校行事について。中学校 4 校で修学旅行が終わった。運動会は小学校 3 校で終わり、蒲中が昨日と今日。西中は大阪へ万博を見に行くことになっている。

保護者、地域の皆さんが教育の当事者としてかかわっていただいている。

5 参加者の自己紹介等

鈴木所長 様々な立場、団体の代表の方に集まっていたいている。どのような人がいるか、顔と立場を知ってもらう機会としたい。保育協会代表委員のお名前が間違っていた。正しくは野村宏実様。

<委員>

細井総代会長

松本中央小校長 石川生徒指導部長の代理で出席

浅井生活安全課長 3 月から着任。

小貫ハローワーク代表 中高生対象に職業相談を行っている。

伊豫田保健所蒲郡出張所代表 ひきこもりやうつで悩んでいる方の家族のつどいを実施している。相談には申込みが必要

近藤防犯協会長 安心して暮らせるようにするため、防犯カメラ設置。健全育成活動を実施している。

小林社会福祉協議会代表 子どもの自己実現のための生活福祉支援金、教育資金貸付、ひとり親家庭への学習支援、子ども食堂への助成金

山本ライオンズクラブ代表 薬物乱用防止教室、募金。6 月 8 日にビーチクリーンを実施する。宝探しのイベントやアサリ汁の炊き出しなどを行う予定。

鈴木マリンライオンズクラブ代表 竹島水族館横の土地で芋を作り、300 人の幼稚園親子で芋堀大会実施。マリンロードの街路樹の下の草取りを実施している。昨年の堤防アート実施前に草取りを行った。薬物乱用防止講座をライオンズクラブと分け合って実施している。

高岡青年会議所代表 6 月と 10 月にイベント実施予定。6 月の藤井名人の対局に合わせ、6 月は将棋に関するイベント。

大竹民生委員児童委員代表 ヤングケアラーの研修やにこりんの視察。地域学校協働活動で関わる関係で現状を把握することができた。子ども食堂に力を入れている。

石黒よろず相談代表 よろず相談は人権擁護委員が行っている。人権ミニレター事業を行っている。

田部母子寡婦福祉会 ひとり親世帯を対象に、火曜日学習支援を行っている。教員 OB や大学生が指導している。

神田身体障害者福祉協会会長 300 人いた会員が 70 人に減った。若い方に入ってもらいたい。

鈴木社会教育審議会代表 地域学校協働活動に関連して放課後こども教室が全小学校でできるようになった。

畑田スポーツ推進委員会代表 放課後子ども教室に協力している。

都築蒲郡高校長 落ち着いている。登下校時の交通マナーが悪い。新入生 240 人中、2 人が来れていない。中学時代から学校に行けていなかった。1 人は転学した。定時制は半数が外国籍。

大場公民館代表 公民館は高齢者のイメージがあるが、地域学校協働活動で利用されることが多くなった。

小林子ども会連合会代表 子ども会活動から抜けた地域が増えている。中高生のジュニアリーダーにレクを覚えてもらい、地区の子ども会へ派遣している。

稲吉文化協会代表 高齢化が進み、若者に参加してほしい。3 月にジュニア吹奏楽や合唱団と合同演奏会を実施した。みんなと楽しめる機会を創出したい。

吉見スポーツ協会代表 バドミントン、バスケットボール、弓道などスポーツを通じて健全

育成を実施している。部活動の地域移行に関わっている。

鈴木サポステ代表 ひきこもり、ニートの支援。蒲郡市委託のここくる教室、愛知県委託の若者未来応援塾の事業を連携して支援している。

深津ブックパートナー代表 学習室は満席。ボードゲーム大会を開催したり、イベントボランティアの募集をしている。

野村保育協会代表 保育園では0~5才児が心身ともにすこやかになるよう、保護者が仕事に専念できるようにしている。少子化にもかかわらず、0~2才児保育の需要が高まっている。

岡田校務主任(小)代表 地域学校協働活動は校内に拠点があり、さまざまな活動に協力していただいている。図書室の運営はブックパートナーにお世話になっている。

辻校務主任(中)代表 三谷中の校内支援センターには集団での生活が難しい子が来る。人と関わることで集団生活ができるようになる。

<幹事>

伊藤財政課長 昨年まで教育政策課。

磯貝交通防犯課長 特殊詐欺が増えている。警察・地域と協力して周知していく

谷口福祉課長 生活保護、障害福祉。保護司が社会を明るくする運動でかかわっている。子どもの貧困

藤井都市計画課長 まちづくり、都市公園、緑化推進、施設維持管理。ごりやく市で緑化木の配布を行う。

浅井健康推進課長 複雑化した問題を抱える家庭へ、専門職による支援

大岡スポーツ推進課長 学校体育施設をスポーツ少年団へ解放。夏休み中スポーツ教室を実施。三河湾健康マラソン実施。住民プール代替事業として中央小とラグナシア。

戒田学校教育課長 コミュニティスクール、小中一貫教育など。このあと足立補佐から詳しく。

三浦教育政策課長 ブックパートナーによる図書館、新しい学校づくり。

市川生涯学習課長 地域学校協働活動、放課後こども教室の推進、統括コーディネーター、公民館事業

(14:25~)

鈴木所長 子育て支援課長さんからは、こども総合計画の説明をお願いします。

鈴木子育て支援課長 (こども総合計画概要版・要項2ページ~ を元に説明)

- ・こども・若者施策の総合的な計画。各種計画を一体的に策定。
- ・計画期間は令和7年度から令和11年度まで
- ・基本理念「みんなで育てよう こどもの笑顔 かがやくまち 蒲郡」
- ・基本目標3つ
 - 1 こども・若者・子育て世帯への切れ目ない支援と環境づくり
 - 2 子育てしやすい地域・まちづくり
 - 3 誰もが子育て・子育てができる仕組みづくり
- ・6つの取組方針と重点施策
このうち、青少年問題協議会に関わるのが 「取組方針Ⅰ すべてのこども・若者と家族を地域全体で支援します」で重点施策が すべてのこども・若者の健やかな育成 と 困難を抱えるこども・若者及びその家族に対する支援
- ・成果指標はアンケート結果

(14:35~)

6 意見交換

「市内小中学生の現状について」

学校教育課 足立雅紀課長補佐 別添資料をもとに報告

1 蒲郡市中学生新制服検討委員会

新制服検討委員会は予定されている4回のうち2回が終わっている。各校で意見を吸い上げ、代表者が意見を言う形で進めている。ブレザーでズボンはチェック柄にする。ボタンは各校で決めることが決まっている。R9から着用開始となるが、現行制服も着用可とする。詳しくはホームページで。

2 市内小中学生の不登校について

(1) 令和6年度について

小57名(R5より5名増加)、中126名(R5より13名減少)となっているが、コロナ前の令和元年は、小31名、中61名で、コロナ後大きく増加している。コロナ対策で人との関りが制限された影響と思われる。また、生き方へのとらえ方など、社会も大きく変わってきている。4つのキーワードを大事にしながら、新たな1人を出さない、行ってみたいと思える学校づくりに力を入れていく。

(2) 校内教育支援センターについて

蒲郡中にステップルーム、三谷中にみやなろ教室、形原中にハートフルルーム。温かく見守っている。利用者は2~5人くらい。部屋があると教室に行けている子も一時避難で利用することができる。

学校独自で設置しているのが、塩津中、中部中、塩津小。まず中学校への設置を進めている。あすなろ教室とサポートステーションで支援していく。

3 心配な状況について

高橋会長の言う通り、昨年、不登校で非行傾向のある子がインスタグラムでつながり、深夜徘徊、飲酒、喫煙、使われなくなった温泉施設への侵入など、たびたびあった。今年度は今のところ動きはない。SNSやスマホの使い方、家庭でのルール作り指導をすすめる。通いたくなる学校にすることが抑止力となる。

もし何かあったら学校、警察、市教委連携して対応していきたい。

交通事故が2件、不審者6件。体を触られたケースも。(小中合わせての件数)

鈴木所長 何か質問・ご意見ありましたら。

吉見スポーツ協会代表 ヤングケアラーの把握はされているのか

足立補佐 要対協で毎月報告がある

鈴木所長 ヤングケアラーは誰にも言わないこともあり把握が難しいケースが多い。虐待などの事案があったときに要対協管理となる。

大竹民生委員児童委員代表 不登校の校内支援センターはどの時間帯で実施しているのか。

足立補佐 校内支援センターは学校に行けるが、教室に入れない子を受け入れている。学校がある日の午前中。

7 議事

鈴木所長 要項20ページをご覧ください。本年度の地域安全・青少年健全育成市民大会は東ホールで実施します。東ホールでの実施は初めてです。そのほかの提案内容につきましては要項をよく読んでください。

8 閉会のことば 細井総代連合会長

(終了 15:00)